



Hello!

#11
August 2024

ベアホープ、ここがびっくり!

ベアホープでは、様々な国家資格を有したスタッフが専門性を生かし、日々の対応にあたっています。ベアホープの職場はどんなところ?おしゃれなオフィススペースで優雅にPCのキーボードを叩き、電話に対応している?出張の時は飛行機のビジネスクラスに乗って、全国を駆け回っている?全国対応だから、スタッフみな疲れてギスギスな感じ?

今回はベアホープの職場の雰囲気やスタッフがどんな人たちが興味がある方々のために、スタッフ全員に「ベアホープで働いてみてここがびっくり!」というテーマでアンケートを取ってみました。

職場環境

- ★ ワークライフバランスが取りやすい。
- ★ 事務所の周りはしょっちゅう工事ばかり…ずどどど!!!!
- ★ 月曜あるある。夏は灼熱、冬は極寒。
- ★ いまだにFAXを使う時がある。
- ★ 素晴らしくアメージングな職場♡
- ★ 優しいスタッフから今日も餌付け。
野菜・果物・おやつまで。あ〜幸せ♡
- ★ 誕生日はみんなと一緒に祝い。
- ★ 毎度毎度すごい人が入ってくる。
- ★ 勤務年数関係なく意見を言える風通しの良さ。



お仕事

- ★ ベアーズの養親さんたちのクリエイティブに広がっていく交流にびっくり!
- ★ 社会的養護下にいるこどもの人数と背景、実親さんの背景を知った時。
- ★ 眠くならない。昼下がり、眠いなあと思っても、パンチの利いた電話が入ると、シャキッと目覚める。いつもエキサイティング、良い意味でワクワク。
- ★ 出張が多いこと、そして移動距離の長さにもびっくり!
- ★ 無茶ぶりすごい(笑)



スタッフ

- ★ その吸収力と着実な成長、誠実な人間性にびっくり!
- ★ 普段の生活では出会うことのない人たちが一緒に仕事をしている。
- ★ お互いの専門や背景の違いを認めあっている。
- ★ ひとりひとりが個性豊かなのに、チームワークが抜群!
- ★ スタッフの頭の回転が速いこと。
- ★ 子どもへのパッションが強い!!
- ★ 激しく、時には静かにメラメラと熱い想いを、全員が持っていることを肌で感じる。
- ★ ベアホープスタッフの若々しさにびっくり!
- ★ 人の温かさが渋滞中。
- ★ 子どもへの思いが強いあまり、いつも熱いディスカッション。



いかがでしたか? ベアホープが関わっている特別養子縁組に興味がある、ベアホープって楽しそうな職場だなと思ってくださったら、嬉しいです!



特別養子縁組の理解を深めるために

ベアホープでは養親希望者の方々への研修を行っています。それだけでなく、養子を迎えて子育て真っ最中の養親家庭に対しても、定期的に研修を実施し、愛ある家族形成のお手伝いをしています。

これまで様々なご家族と対応していた中で、痛感した課題がありました。その一つは、ご夫婦以外に子どもの人生に大きく関わっていくことになるおじいちゃん・おばあちゃんに特別養子縁組の制度やありがちな課題について共有する機会が今までなかった事でした。



そこで昨年度特別養子縁組で親世代(すでに養子を迎えている夫婦、養子縁組を検討している夫婦)、祖父母世代(夫婦の両親)を対象にウェビナーを開催しました。ウェビナーでは実際に養子の子育てにあたってご夫婦(両親)とご夫婦の親(祖父母)に登壇していただき、それぞれの立場から特別養子縁組に対する気持ちや思い、真実告知のような特別養子縁組特有の課題についても率直に語っていただき、好評をいただきました。

このウェビナーについて何か形に残るものをというご要望にお答えし、ベアホープではこのウェビナーでの談話を元に小冊子を作成しました。ご興味のある方には期間限定で無料にて差し上げます。お気軽にお問い合わせください。

ベアホープではこれからも養親希望者や養子縁組家族のニーズを拾い上げ、研修等を提供していきたいと思っています。

紫メガネの カウンセラーから

公認心理師・カウンセラー 渡辺 貴子



「人がひとりでいるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう。」と、人はどんな存在か聖書に書かれています。この言葉から、人はひとりで生きていける存在ではなく繋がりがなければ生きていくことができないことが伺えます。

人は家族、友人、近所、学校、職場、町内の集まり、趣味の仲間、教会などさまざまなコミュニティに属し、仲間と繋がりお互い支えあって生きています。

人と繋がる機会が大きく変わってしまった場合、どのような影響があるのでしょうか?新型コロナウイルスの世界的大流行で私たちの行動が著しく大きく制限され、生活や人生に深い影響を及ぼしたことは、まだ記憶に新しいところです。外出制限を受けたことで生活のペースが緩やかになり、家族や夫婦で過ごす時間が増え、じっくりと話すことができるようになり、お互いをより深く理解し、絆を深める機会になったという報告がありました。

しかし、他方では孤立感が増し人との関係が希薄になり、体調やメンタルヘルス面で不調を訴える人が増加しました。以前から家族や夫婦関係でストレスを抱えていた人にとっては、いつまで続くかわからない自粛生活は居心地の悪い人たちとの監禁に等しい生活でしかありませんでした。



人との関わりを通して、励まされたり癒されることもあります。反対に深く傷つきつづれてしまう事があることも事実です。人との関係で疲れてしまった時、一方的にその人との繋がりを絶ち、そのまま立ち去ることもできるかもしれません。けれども、もやもやした気持ちが続いているのなら、専門家からのカウンセリングを受け、その人との関係や自分自身について振り返るヒントや答えを探っていくことも選択肢かもしれません。

JAMMINさんとのチャリティー企画が、 大好評のうちに終了しました!

京都発チャリティーブランドのJAMMINさんとコラボレーション(以下、コラボ)した、チャリティーアイテムの販売が、2024年5月に大好評のうちに終了しました。目標を上回る270,550円が、ベアホープへチャリティーされました!たくさんのご支援を心から感謝致します。

JAMMINさんとは2022年春にもコラボしており、商品をご購入いただいた皆さまからも多くの反響をいただきました。今年はベアホープ創立10周年

ということもあり、それを記念し再びコラボレーションが実現する運びとなりました。

あたたかい家庭を必要としている社会的養護下のお子さんが多くいる中で、迎えてくださるご家族は少ないという現状にあります。ご協力いただいたチャリティーによる寄付は、特別養子縁組をたくさんの人に知っていただき、お子さんを迎えてくださる家庭がさらに増えていくことを目指し、周知・啓発活動のために活用していきます。

今回の企画に際し、JAMMINさんから現在行っている特別養子縁組の周知・啓発活動を含めた、ベアホープの活動についてインタビューを受けました。

そのインタビューを踏まえ、新たなデザインが作成されました。今回のデザインではベアホープの10年の活動によって生まれた家族のつながりや、特別養子縁組の広がりや表現され、かつ、ベアホープが大切にしている聖書のことは、「I have loved you with an everlasting love”(私は限りなき愛を持ってあなたを愛している)、も盛り込まれています。

ベアホープの養親さんであるベアーズのみなさんが、おそろいのTシャツを着てご家族で撮られたお写真をベアホープに送っていただきました!その中の一枚をご紹介します。皆さんお似合いで、とても素敵でした。ベアホープスタッフも、Tシャツを早速着用して仕事をしています。この夏、大活躍の予感です!

チャリティーコラボ期間は終了致しましたが、インタビュー記事はこちらからお読みいただけます。ぜひご覧ください。



■2022年春のインタビュー記事
https://jammin.co.jp/charity_list/220502-barehope/



■2024年春のインタビュー記事
https://jammin.co.jp/charity_list/240429-barehope/

ベアホープは、2018年から引き続き、昨年度も養子縁組民間あっせん機関支援体制構築等モデル事業の事業者として活動いたしました。行政と連携しつつ実親および養親子支援を行った際に、皆様からお寄せいただいた総額350万を、下記事業の財源として大切に使用させていただきました。必要経費の約60%を寄附金により補填させていただきます。支援者の皆様へ心から御礼申し上げます。

令和5年度項目別寄付金充当額(単位:円)

項目	事業費(助成額除く)	寄付金充当額
ハイリスク妊婦や実親支援		
妊娠葛藤相談支援	2,485,890	1,532,000
裁判手続き支援		
養親子支援		
病児障害児縁組家庭の負担軽減	3,198,164	1,971,000
公認心理師による心理支援		
お子さんが16歳になるまでのフォローアップ		
関係機関との連携体制構築	528,385	0
計	6,212,439	3,503,000

寄附金使途の1つは実親支援です。相談をお受けしたのち、ケースワーカーは実親さんとお子さんのためにこれから取り得る選択肢を、実親さんへお話ししていきます。当初から特別養子縁組を推奨することはありません。相談者のうち特別養子縁組を選ぶ方は14人に1人程度ですので、相談のみで終了となる方が大多数です。経済的困窮、性暴力、虐待、家庭崩壊、ホームレス、ご自身の病気などあらゆる困難な中にある実親さんが、今置かれた環境から脱却するためのお手伝い、これはベアホープが活動を続ける大きな意味の1つであり、その支援にかかる必要経費は寄附金により補填されています。

また、子どもは誰もが家庭で育つ権利を持っていますが、障害や病気があることを理由に実親家庭で生活することが難しい子どもたちがいます。とりわけ病児・障害児養育を行う家庭に対し、委託後もそれぞれのニーズに合わせた丁寧な支援を行うため、皆様からお寄せいただく寄附金を毎年活用させていただいています。

マンスリーサポーター登録のための
簡単3ステップ!

1. ベアホープのホームページへアクセス



<https://barehope.org/support-us/>

2. サポーターページの1番下「クレジットカードによる寄付のお申込み」をクリック



3. 必要情報を入力して送信寄付タイミング「毎月」を選択してください😊



一般社団法人 ベアホープ

養子縁組あっせん事業許可事業者 (許可番号:30 福保子育て第2762号)

〒203-0014 東京都東久留米市東本町 3-17 2F

TEL **042-420-6625** 妊娠相談受付時間/
平日9時~21時 土日13時~21時

E-mail office@barehope.org

URL <https://barehope.org>



ベアホープでは様々な背景の妊婦さんのニーズに応えるため、皆様からの経済的なご支援をお待ちしております。

ゆうちょ銀行 郵便振替口座 / 口座記号番号:00150-5-419253

口座名称(漢字):一般社団法人ベアホープ 口座名称(カナ):シャ)ベアホープ

ゆうちょ銀行 振込口座番号/ 預金種目/口座番号:当座 0419253 店名(店番):〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)

(社)ベアホープはキリスト教主義に基づき、すべての人が神様に愛され大切にされるべき存在だと信じ活動しています。

わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している エレミヤ31:3

I have loved you with an everlasting love Jeremiah 31:3